

福岡地域の MSM における HIV 感染対策の企画と実施

研究分担者：山本政弘（独立行政法人国立病院機構九州医療センター・AIDS/HIV 総合治療センター
部長）

研究協力者：戸川貴一郎、牧園祐也（Love Act Fukuoka/公益財団法人エイズ予防財団）

請田貴史、北村紀代子、狭間隆司、橋口卓（Love Act Fukuoka）

井上緑（独立行政法人国立病院機構九州医療センター）

塩野徳史、金子典代、市川誠一（名古屋市立大学看護学部）

研究要旨

本研究は、2002 年から福岡の MSM に対し当事者主体の HIV 感染予防啓発活動を行っている NGO 「Love Act Fukuoka」による、コミュニティベースでの啓発普及推進と試行、そしてその評価を行ったものである。

今年度は、これまでと同様にコミュニティセンターhaco を基本とした予防啓発プログラムを実施するとともに、昨年度に行ったロジックモデル分析を用いて各プログラムを見直し、リニューアルを行った。また新たな啓発資材として、haco に来場する福岡在住 HIV 陽性者の協力による陽性者手記集を作成した。

「新たな試みとしては、福岡における HIV 陽性者ピアサポートプログラムの試行として、特定非営利活動法人日本 HIV 陽性者ネットワーク・ジャンププラスとの共催による HIV 陽性者交流会を開催した。

MSM における行動科学調査および介入評価として、保健所等の HIV 抗体検査受検者を対象とした質問紙調査、インターネット横断調査および追跡パネル調査を実施した。

行政との連携としては、福岡県と福岡市それぞれと協働し、保健所関係者に向けた研修会の開催と、ゲイコミュニティに向けた特例検査の広報を行った。特に福岡市とは、広報資材の協働作成を行うなど積極的な協働ができた。

A. 研究目的

厚生労働省エイズ動向委員会によると、わが国における HIV 感染者および AIDS 患者の累計報告数は年々増加を続けており、中でも日本国籍男性 MSM の HIV 感染者の増加が著しく、年間報告の過半数を占めている状況である。男性同性間の性的接触による HIV 感染者および AIDS 患者は、関東や関西地域のみならず、九州地域においても同様に増加が続いている。2011 年度末の沖縄県を除く九州地域の新規 HIV 感染者報告数は 72 名、新規 AIDS 患者報

告数は 43 名で、HIV 感染者数は総計 519 名、AIDS 患者数は総計 301 名となっており、地域における感染拡大防止に向けた啓発普及は急務となっている。

本研究では、九州地域の中でも特にゲイコミュニティの規模の大きな福岡において、2002 年から MSM に対し当事者主体の HIV 感染予防啓発活動を行っている、NGO 「Love Act Fukuoka（以下 LAF）」の主体による、当事者性を重視した MSM の HIV 感染予防啓発の推進と試行、そしてその評価を行った。

B. 研究方法

1. 予防啓発プログラムの実施と改善

2006年の開設から、2010年度まで順調に増加していたコミュニティセンターhacoへの来場者数が、2011年度は減少傾向となった。そこで今年度は、より多くのMSMをコミュニティセンターへと誘導するため、昨年度に実施したロジックモデル分析を用いて、各プログラムの見直しとリニューアルを行った。リニューアルにあたっては、いかにMSMの興味・関心を惹きつけるか、利用しやすいかなど、対象からの視点を重視した。またプログラムが相乗して効果的に働くよう、それぞれを連動させた。

2. HIV陽性者ピアサポートプログラムの試行

hacoの開設以来、来場するHIV陽性者から「当事者同士で集まれる場所が欲しい」との声が多く寄せられていたが、福岡ではそういった場がなかったため、リソースを他地域に求める状況であった。

そのような中、LAFのボランティアスタッフから「福岡で陽性者のピアサポートグループを立ち上げたい」という申し出があり、彼をプログラムリーダーとして、特定非営利活動法人日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラス（以下、JaNP+）との協働により、福岡におけるHIV陽性者ピアサポートの試行を開始した。

3. MSMにおける行動科学調査および介入評価研究

1) HIV抗体検査受検者を対象とした質問紙調査

HIV保健所検査受検者に対するアンケート調査を福岡市内にある3の検査機関の協力を得て実施した；福岡市中央区保健福祉センター、福岡市西区保健福祉センター、博多区保健福祉センター（2012年10月より）。

2) インターネット横断調査および追跡パネル調査

コミュニティベースの携帯電話による性の健康に関する質問紙調査（以下、GCQアンケート）として、クラブイベント等と連携した横断調査、その後の追跡パネル調査を5月と7月、9月、平成25年1月に実施した。

4. 行政との連携と協働

福岡では、2002年より九州医療センターが主体となり、福岡県、福岡市、LAFが一同に会する「セクシュアルヘルス懇談会」を開催し、医療と行政とNGOの連携体制を構築している。今年度も6月6日の日曜日に開催し、協働方法を検討した。主にエイズデー特例検査のゲイコミュニティへの広報や、同性愛者等支援のための研修会の協働開催を行った。

C. 研究結果

1. 予防啓発プログラムの実施と改善

1) コミュニティセンターの設置・運営等

① コミュニティセンターhacoの運営

2006年から、コミュニティベースでのHIV感染予防啓発普及拠点として、MSM向け商業施設が集まる福岡市博多区住吉にコミュニティセンターhacoが開設され、LAFが公益財団法人エイズ予防財団より受託して運営を行っている。

現在の開館時間は、木曜～日曜の18時～22時。木曜はセンター来場未経験者を対象とした「初来場者デー」。最終日曜は定例ミーティングのため休館としている。今年度から、非常勤職員として専従者を一名増員したため、曜日に関わらず祝日も開館することとした。

現在の定例スケジュールは、以下の通りであった。

i) 第1日曜：気になるHIV…HIV/STDに関する勉強会

ii) 第1金曜：検査へ行こう！…HIV抗体検査についての説明会

iii)第3日曜：ボランティア募集！…アウトリーチなどのボランティア希望者のための説明会

今年度の haco で開催されたイベント及び来場者数状況は(付表1)の通りであった。

2013年1月までの総来場者数は1,767名(前年比138%)、うち初来場者数は207名(前年比131%)で、前年度よりも大幅に来場者が増加した(図1)。理由としては、

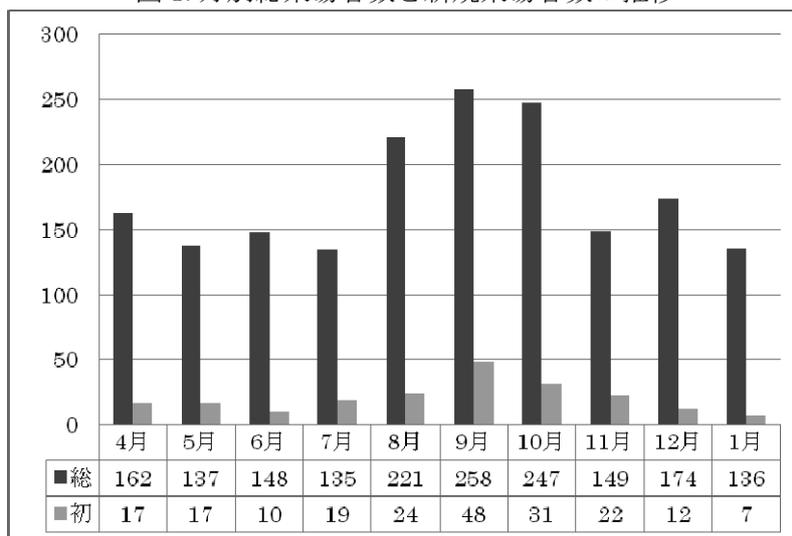
- ・MSM に人気の高い作家によるイラスト展の開催など、ほぼ毎月展示会を開催したことで来場するきっかけを多く作りだした。
- ・クラブイベント出演者のダンスレッスン目的での利用が多かった。

・リニューアルしたコミュニティペーパーやウェブサイトによる広報の効果。

以上が考えられる。

定例スケジュールの勉強会「気になるHIV」は、水溶性ローションやコンドームを実際に手にとって実験するなど、楽しめる企画を盛り込んだ参加型とすることで毎回一定の来場者を得ることができた。しかし、「検査へ行こう！」と「ボランティア説明会」はそれを目的とした来場者が0名であったため、今後の広報の充実や内容の再考などが課題となった。

図1. 月別総来場者数と新規来場者数の推移



②ウェブサイトのリニューアル

インターネット利用者に対する予防啓発として、haco 開設と同じ2006年からウェブサイトの運営を行ってきた。

今年度からウェブサイト閲覧者の haco 来場促進を目的に、名称を「Love Act Fukuoka ウェブサイト」から「haco ウェブサイト」に変更し、現在のウェブ標準に合わせたシステムでリニューアルした。

ウェブサイトの主な機能は、以下の通りである。

i) haco トピックス&スケジュール…haco で

のイベント等に関する情報とスケジュール

ii) エイズってなあに?…API-net (エイズ予防情報ネット) をベースとした HIV/エイズに関する基礎情報

iii) HIV 抗体検査スケジュール…福岡県内の保健所の HIV 抗体検査情報を曜日と場所で検索可能

iv) お役立ちリンク…他地域のコミュニティセンターや関連団体等のウェブサイト情報

その他のコンテンツを含め、リニューアルしたコミュニティペーパー「season」とQRコードで繋ぎ、有機的に連動させた。

今のトレンドに合わせたサイト構築を行い、アップトゥデートに最新の情報を発信することで、インターネット利用者に対し常に新鮮な情報を提供することとした。

今後はさらに HIV/STD 情報を充実させるとともに、携帯（スマートフォン）対応、英語や中国語、韓国語などの言語対応を行い、ユーザーアクセシビリティを向上させる予定である。

③他地域とのプログラム共有

8月30日～9月29日に haco で開催し、多くの来場者を誘導したイラスト展示会「めんたいこ展」を、沖縄のコミュニティセンター mabui に貸し出した。展示会は12月6日～23日の間 mabui で開催された。mabui の期間中における来場者数等は、沖縄地域の報告書を参照されたい。

今後、有効なプログラムは積極的に共有し、地域間の連携を強化していくことが重要であると考えられる。

2) 啓発資材の作成と配布

①コミュニティペーパーの作成とリニューアル

2004年から、HIV 予防啓発関連情報誌「コミュニティペーパー season」を年4回、1回につき3,000部を発行し、オリジナルデザインのコンドームとともにゲイコミュニティに配布してきた。

今年度は、より MSM に対する訴求力を高めるため、30号より season のリニューアルを行った。全体的に、文字はできるかぎり大きくする、文章は簡潔にまとめる、煩雑な情報はよく整理して記載するなど、誰もが読みやすくなるように工夫をした。

現在の表面構成は以下の通りである。

- i) 特集…MSM の興味を引くセックスに関連した情報
- ii) HIV 抗体検査について…福岡市/北九州市

の保健所 HIV 抗体検査情報

iii) 感染していたらどうしよう？…感染不安を持つ人のための電話相談情報

iv) 検査結果が陽性だったら？…感染後生活不安を持つ人のための医療情報

v) 次は買ってね！コンドーム…自主的な購入促進のためのコンドーム情報

vi) エイズってなあに？…API-net（エイズ予防情報ネット）をベースとした HIV/エイズに関する基礎情報

vii) Welcome haco…haco の定例スケジュールとウェブサイト案内

viii) その他…ゲイコミュニティ関連情報

裏面は、ゲイコミュニティの商業施設 MAP と店舗 INDEX を掲載することとした。今回のリニューアルにあたり、欧州で実施された「everywhere プロジェクト」を参考に、新たに「LAF の啓発資材の設置協力」を掲載にあたるガイドラインとして設け、設置協力店舗のみを掲載することとした。

このガイドライン変更にあたり、掲載中の全店舗へその旨の案内を行ったところ、資材設置を拒否していた店舗から資材設置協力の申し出があった。2004年から継続して配布を続けている「season」は、福岡のゲイコミュニティにおける広報媒体として存在価値を持つようになり、MAP 掲載は店舗にとっても有用となってきている。

②福岡の HIV 陽性者手記集

福岡は地方都市ゆえにゲイコミュニティのクローゼット性も高く、HIV 陽性者が自身の感染を誰かに打ち明けることは、東京などの大都市よりもさらに困難な状況がある。それゆえ、MSM は HIV に対する身近さやリアリティを感じる事ができず、検査行動や予防行動につながりにくい。

そこで、HIV のリアリティを伝えるため、haco を利用する福岡在住の HIV 陽性者の協力により手記を集め、「福岡の HIV 陽性者手記

集」を作成した。手記は2,000部を発行し、ゲイコミュニティに配布した。この手記は世界エイズデー記念企画「福岡のHIV陽性者手記展」として、11月9日～12月29日の間、hacoでの展示も行った。

今後は、新たな試みとして開始したHIV陽性者ピアサポートプログラムと連動しながら継続して手記を集め、第2版の発行を行う予定である。また来年度からは、Living Together計画と連携した手記朗読イベントの開催を計画している。

③アウトリーチ（資材の配布）

コミュニティペーパー「season」の発行に合わせた年4回を基本に、ゲイコミュニティへの啓発資材のアウトリーチを行っている。今年度の配布実績は(付表2)の通りであった。

今年度より、鹿児島県のゲイバー1店舗から資材設置希望の連絡があり、「season」の郵送を開始した。コンドームは予算の都合上作成できなかったため、現在のところ郵送は行っていない。

福岡市内のアウトリーチには、毎回一定数のボランティアが集まり、比較的安定した体制を維持することができている。しかし北九州市でアウトリーチを行うにはボランティアの確保が難しく、現在は地元在住の協力者1人で行われている状況である。hacoのように、人が集まることのできる拠点となる場所がないことが大きい要因と考えられ、今後のアウトリーチ体制の改善が課題である。

3) 同性愛者等支援の研修会

①福岡県HIV・エイズ検査相談研修会

福岡県保健医療介護部と九州医療センターとの協働により、福岡県域の保健所職員および医療関係者を対象としたHIV/AIDSに関する研修会を開催した。LAFは午後の検査相談グループワークのプログラムをオーガナイズした。検査相談グループワークは、臨床心理

士をファシリテーターとし、内容は、検査相談の位置づけ、検査利用者心理の理解と対応のポイント、セクシュアリティ理解とした。

グループ進行は臨床心理士、福岡県派遣HIVカウンセラーが担当し、コメンテーターにHIV診療医師が加わる体制で行った。

LAFはセクシュアリティ理解のための講座を担当し、その講演とともに、検査相談の場における性の多様性を踏まえた対応について、参加者と検討した。参加者は21名であった。

②福岡市エイズ対策研修会

福岡市保健福祉局保健医療部との協働により、福岡市内保健所の検査従事者および職員を対象に、主に検査相談対応の質の向上を目的とした研修会を開催した。参加者は18名であった。

研修会のプログラムは下記の通りである。

- i) セクシュアリティ理解 (LAF 代表 牧園祐也)
- ii) 検査を受けなかった訳と感染告知を受けたときのこと (HIV陽性者スピーカー けいいち ※仮名)
- iii) 拠点病院における患者の対応について (NHO九州医療センター 専任看護師 長与由紀子)

今回の研修会では、LAFのボランティアスタッフでJaNP+のスピーカー研修を受けたHIV陽性者の協力により、検査を受けなかった理由や、保健所で感染告知を受けた当時の心境や状況など、HIV陽性者のリアルな声を講演として取り入れた。参加者からは「HIV陽性でも元気に生きている人を知ることができて安心した」「自分たちの業務の重要性が分かった」などの感想が挙げられた。

またこの研修会をきっかけに、保健所関係者とLAFとの顔の見える関係を構築するため、専用のメーリングリストを作成した。参加者に登録案内を行い、6名が登録した。

4) HIV 検査相談

①クリニック検査キャンペーン

昨年度、RED RIBBON GAMES における検査会で協働した「さぎやま泌尿器クリニック」と再度協働し、6月～11月までの6ヶ月間、MSMを対象としたクリニック検査キャンペーンを実施した。

今回のキャンペーンにおける検査は、昨年度の検査会のように特別な日時を設けるのではなく、クリニックが通常行っている HIV 迅速検査と同様に診療時間内で実施することとした。内容は、HIV（確認検査まで）、梅毒、B型肝炎の迅速検査3種類、通常7,000円を無料とし、HIV 陽性判定後の拠点病院紹介までを匿名で行った。

予約は、haco ウェブサイトを經由した前日までの電話予約とした。受検希望者が検査を十分に理解した上で受検を選択できるように、ウェブサイト内に特設ページを作成し、検査に関する詳細な情報を掲載し、最後に予約のための電話番号を掲載した。

また検査後のケアと予防介入のため、電話相談を行っているエイズ・ワーカーズ・福岡のパフレット、haco パフレット、コンドーム1個の資材セットを作成し、検査後の受検者に渡した。

結果は、受検者が74名であった。うち梅毒が9名、B型肝炎が2名であった。HIVについては迅速検査で陽性と判定された者が6名であり、確認検査で陽性と判定された者が3名であった。3名には拠点病院を紹介し、後日全員の受診が確認された。検査キャンペーンにおける HIV 陽性率は、昨年の RED RIBBON GAMES で行った検査会とほぼ同じ5%ほどで、MSMにおける HIV 感染率の高さが示された。

さらに、10月15日以降の検査キャンペーン受検者を対象として、コンドーム5種類各1個のセットと水溶性ローション（200mm）1本を「セーファーセックスグッズ応援プレゼント」として配布した。受検後に渡す資材セッ

トに引換え券を付け、haco でグッズを引換えることとし、haco への来場を促した。引換え目的での haco 来場者は23名であった。

②コミュニティセンターにおける相談

コミュニティセンター利用者からの相談（対面/電話/メール）を下記 A 群～C 群に分類して集計を行った。

A 群：セクシュアルヘルス等

B 群：生活やライフプラン等

C 群：その他協働等

集計内容は（付表3）を参照されたい。

haco では、スタッフが専門的なカウンセリングスキル等を持っておらず、またプライバシーを守るための個室がないので、基本的に相談を受けるという広報を行っていない。利用者から相談の希望があった場合は、傾聴し内容に合った専門機関へ繋ぐという方法をとっている。

haco における相談内容は B 群が多い傾向で、中でもセクシュアリティに関する内容のものが多かった。福岡は地方ゆえにクローゼット性が高く、自分のセクシュアリティをカミングアウトすることが難しい状況があるため「ゲイ・バイセクシュアル男性を対象として開設している」という情報を頼りにした LGBT 当事者からの相談や、民間で行われている相談機関からの紹介という例もあった。また、うつや統合失調症などの精神疾患に関連した生活不安等の相談もあり、対応が難しい場合もあった。

コミュニティセンターはオープンスペースであるため、情報漏洩の可能性もあり、その場で重要な相談を受けることは難しい。またスタッフは専門的なスキルを持っていないため、個人的な経験からのアドバイスを行いがちであり、相談者が精神疾患に関連した問題を抱えている場合は、心理的な影響を与えてしまう可能性がある。センターにおける相談は、あくまで傾聴にとどめ、専門機関に繋げ

る役割を重視するべきであると考える。

2. HIV 陽性者ピアサポートプログラムの試行

1) ピアグループミーティング：HIV 陽性者交流会 at 福岡

2013年2月24日(日)に福岡市内で「HIV 陽性者交流会 at 福岡」を開催した。会場はプライバシー保護の観点から非公開とした。

今回の広報は、九州医療センターでのフライヤー設置と、MSM 陽性者向け SNS「Ferry」で行い、対象はゲイ・バイセクシュアル男性のみとした。九州医療センターの待合室およびカウンセリングルームにフライヤーを設置し、参加申し込みは JaNP+のウェブサイトを通じて受付けた。

3. MSM における行動科学調査および介入評価

1) HIV 抗体検査受検者を対象とした質問紙調査

アンケート調査協力機関における受検件数は第2四半期(2012年4月-6月)が329件、第3四半期(2012年7月-9月)が305件、第4四半期(2012年10-12月)が436件で全期間の総受検件数1070件のうち陽性判明数は2件(0.19%)であった(表1)。またアンケート回収数は第2四半期が252件(回収率76.6%)、第3四半期が211件(回収率69.2%)、第4四半期が320件(回収率73.4%)であった。

第2四半期、第3四半期、第4四半期それぞれの初回受検者割合は62.7%、54.0%、51.9%、24歳以下割合は18.3%、22.3%、23.4%、MSM 割合は13.5%、14.2%、14.4%、性風俗利用者割合は24.2%、22.3%、25.0%、性風俗従事者割合は7.5%、7.6%、5.6%であった(表1)。

また MSM の特性を把握するため、受検経験に着目し、初受検者と再受検者の差異を検討した(付表 5a 及び 5b)。初受検者 MSM のなかで、自発的検査割合は72.7%であったのに対し、再受検者 MSM では94.7%であり、再受検

者 MSM で自発的に検査を受検した割合が有意に高かった($p=0.02$) (付表 5b)。

広報資材認知について、行政の紙資材・ポスター広報誌、行政のホームページ、NGO 資材、HIV マップ、HIV・検査相談マップ、AC 広告のいずれかの資材を認知していた割合については、初受検者 MSM の54.5%に対し、再受検者 MSM で94.7%であり、再受検者 MSM で認知が有意に高かった($p<0.01$)。資材別では、特に行政の紙資材・ポスター広報誌や NGO 資材の認知が初受検者 MSM に比し、再受検者 MSM で有意に高かった(それぞれ $p=0.02$ 、 $p<0.01$) (付表 5b)。

2) インターネット横断調査および追跡パネル調査

コミュニティベースの携帯電話による性の健康に関する質問紙調査(以下、GCQ アンケート)として、クラブイベント等と連携した横断調査、その後の追跡パネル調査を実施した(研究方法の詳細については、分担研究の「MSM における HIV 感染の行動科学調査および介入研究」を参照)。

福岡地域では、クラブイベントと連携したコミュニティベースの質問紙パネル調査を5月、7月、9月、12月に実施した。4-5月の横断調査では403件の有効回答を得た(ただしこの403件には他地域で実施した調査で、居住地が沖縄県を除く九州地域であると回答した人を含む)。5月は107件、7月は91件、9月は89件、12月は78件の有効回答を得た(図2)。

4-5月に実施したインターネットによる横断調査の403件の有効回答について分析を行った(付表 5a~5e)。基礎属性は、29歳以下の者が60%であり、若い年齢層が最も多かった。過去6か月のゲイバー利用は29歳以下で72%、30歳代で77%、40歳代で70%であった。

検査受検行動については、生涯の HIV 検査



受検経験は 29 歳以下では 45%、30 歳では 65%、40 歳代では 72%であった。検査経験のある者のうち過去 1 年の検査受検経験割合は、29 歳以下では 27%、30 歳では 29%、40 歳代では 36%であった。性行動はいずれの年齢層でも 82-83%であり、差が見られなかった。

haco 来訪経験は 29 歳以下では 27%、30 歳代で 36%、40 歳以上で 42%であり、40 歳以上が最も高かった。season 購読経験は 29 歳以下では 45%、30 歳代で 66%、40 歳以上で 58%と 30 歳代で最も高かった。

4. 行政との連携と協働

1) 福岡県との協働 : haco ウェブサイトでの福岡県特例検査情報の広報

福岡県保健医療介護部からの依頼により、エイズデーに関連して行われる、福岡県内保健所の特例検査の情報を haco ウェブサイトに掲載し、MSM に対する広報を行った。

2) 福岡市との協働

① 特例検査フライヤーの作成

福岡市保健福祉局保健医療部との協働により、平成 24 年度に福岡市中央区と博多区の保健所で実施される特例即日検査の広報フライヤーを作成した。

MSM の体型タイプニーズを、細め、筋肉質、

太めの 3 種類に大きく分類し、ニーズに対応した一般人ゲイ男性モデル 3 名を起用、3 種類のフライヤーを作成した。フライヤーは店舗の客層に合わせ、3 種類のうち 2 種類を配布した。またフライヤーと連動し、haco ウェブサイトでもフライヤーと同じビジュアルを用いた広報を行った。

② 世界エイズデー記念コンドームの作成

福岡市保健福祉局保健医療部との協働により、ゲイコミュニティへの配布を目的とした、2012 年エイズデー記念コンドームを作成した。

LAF が独自に考案したレッドリボンをキャラクター化した「リボンくん」と、2012 年エイズデーの標語である「“AIDS” GOES ON...～エイズは続いている～」を記載した親しみやすいパッケージデザインで、ゲイコミュニティに対しエイズデーを印象づけた。

D. 考察

1. 予防啓発プログラムの実施と改善

今年度の目標としていた、コミュニティセンター haco への来場者誘導は、総来場者数が前年比 138%、初来場者数は前年比 131%という結果で達成された。今年度から専従職員を 1 人増員し二人体制となったことで、haco のオープン日を増やすことができ、毎月の展示

会開催など安定したプログラムの実施も可能となった。一方、新たな専従職員は予算の関係でパートタイム雇用であり、さらにプログラムを充実させるにはフルタイム雇用ができる人件費の増額が必要となる。

既存の予防啓発プログラムは、見直しとリニューアルの実地によって、より訴求力を高めることができたと考えられる。今後はコミュニティセンター、ウェブサイト、コミュニティペーパーをより有機的に連動させ、さらに効果的なアプローチ方法を検討していく方向である。

福岡市エイズ対策研修会においては、福岡在住の HIV 陽性者スピーカーによる講演を取り入れたことは意義のある試みであった。保健所職員は告知後の受検者については知ることが限られているため、HIV 陽性者のリアルな姿と生活を見せることで、職員が業務の重要性を再確認する機会を得ることができたと感じられた。

検査キャンペーンの実施は、多くの MSM に検査を提供する機会となり、CBO による検査機会の創出は、MSM の受検行動促進に効果的であった。しかし、HIV 検査の機会拡大は地域のエイズ対策であり、その継続性を考えた場合、こうした検査キャンペーンと検査提供は、自治体が主体となって実施してほしい。今回は CBO が主体となってクリニックでの HIV 検査を企画・実施した。この検査キャンペーンで得られた成果を行政にフィードバックし、現在の保健所等における検査体制をはじめ、MSM の受検機会を拡大するような体制への改善に向けて提言を行っていきたい。

2. HIV 陽性者ピアサポートプログラムの試行

この HIV 陽性者交流会は、来年度以降も継続して開催し、将来的には交流会参加者の中から有志を募り、独立して運営を行う当事者団体の立ち上げを目指す方向である。

3. MSM における行動科学調査および介入評価

1) HIV 抗体検査受検者を対象とした質問紙調査

保健所における HIV 検査受検者のなかで、MSM 割合が 15% 近くに及んでおり、特に MSM 再受検者は、大多数が自発的に検査を受検していた。資材認知についても、行政の作成した資材や NGO 作成資材の認知割合が MSM 初受検者に比し、MSM 再受検者で大きく上昇しており、初受検後にそれらの資材に触れ、再び検査受検をした可能性が高いと考えられる。ゲイコミュニティに向けた啓発資材の提供を含む HIV 検査に関する情報提供を今後も積極的に継続する必要がある。また、HIV 検査を受検したことがない層に向けた検査促進についても検討していくべきと考えられる。

2) インターネット横断調査および追跡パネル調査

GQC アンケートについては、対象者の年齢層は、29 歳以下が 60% であり、昨年度のレッドリボンゲームズ (29 歳以下 : 40%)、バー調査 (29 歳以下 : 32%) と比較しても若い年齢層の方が多かった。検査経験のある者のうち過去 1 年の検査受検経験割合は、29 歳以下では 27%、30 歳では 29%、40 歳代では 36% であった。検査行動については、40 歳以上の年齢層では、生涯の検査経験割合、過去 1 年の検査経験ともに RRG の調査 (それぞれ 29%、24%) より上がっていた。性行動はいずれの年齢層でも 82-83% であり、昨年レッドリボンゲームズでの調査とほとんど差が見られなかった。今回は対象者の追跡が可能なパネル調査も実施し、総計 4 回調査を実施した。九州地域は追跡が 1 回可能であった対象者は 107 名であったが、2 回以上継続できたものは 61-91 名であり、分析の精度を上げるためにはより一層の対象者の確保が必要となる。追跡可能率は 50.0% であり、他地域より若干低く、より一層の第 1 回での回答者数確保と継

続協力依頼が重要となる。また介入の目的や介入の対象者層については明確にターゲットを定め、集中して介入を実施しその前後でGCQ 調査を行うことで活動効果評価ができるようになることが考えられる。

4. 行政との連携と協働

今年度、福岡市と2種の資材の協働作成を行うことができたのは大きな成果であった。福岡市とは、来年度も資材作成等で協働する予定となっている。今後も積極的に連携していきながら、行政の施策の中でMSMのHIV感染対策がより重要視されるよう働きかけていきたい。

LAFは九州地域において、包括的なHIV対策を担う団体を目指し、来年度NPO法人化を行う予定である。

E. 結語

予定していた計画は、概ね実行された。コミュニティセンターhacoは地域に根差した啓発拠点として機能しており、MSMのHIV予防啓発を推進していくうえで重要な役割を果たしていると思われる。今後も、仙台のZEL、東京のakta、名古屋のrise、大阪のdista、沖縄のmabuiと積極的な情報交換やプログラムの共有を行いながら、JaNP+などHIV関連の支援団体とも連携を強め、日本のHIV感染対策におけるネットワークを構築していくことが重要であると考えられる。

新たな問題としては、MSMの薬物使用とHIV感染の関連性が注目される。HIV感染者における薬物使用経験割合は年々増加しており、ゲイコミュニティに対する薬物蔓延防止の取り組みは、今後の課題である。

F. 発表論文等

(○印は当研究班に関連した発表論文等)
(論文)

1. 大石裕樹, 安藤仁, 高橋昌明, 高濱宗一郎, 喜安純一, 南留美, 石橋誠, 山本政弘: エファビレンツ、テノホビル/エムトリシタビンを大量服用した症例の血中濃度推移について, 日本エイズ学会誌, 14 (1), 42-45, 2012
(国内学会発表)
1. ○牧園祐也, 鷺山和幸, 山本政弘, 北村紀代子, 塩野徳史: ○MSM対象のHIV/STI迅速検査会実施とCBOによるターゲットアプローチの考察, 第26回日本エイズ学会学術集会・総会, 横浜市, 2012
2. ○辻麻里子, 阪木淳子, 曾我真千恵, 米山朋子, 石坂昌子, 長与由紀子, 松尾聖鷹, 緒方积, 長浦由紀, 財津和弘, 友枝沙紀, 藪内文明, 泉真理子, 久米信也, 茂志穂, 牧園祐也, 野田雅美, 斉藤和義, 山本政弘: 九州ブロックにおける自治体と中核拠点病院等が協働したHIV検査相談研修会実施のための体制整備を目的とする講師養成会議と研修会実施について, 第26回日本エイズ学会学術集会・総会, 横浜市, 2012
3. ○町登志雄, 木南拓也, 藤浦裕二, 牧園祐也, 塩野徳史, 市川誠一: ゲイ・バイセクシュアル男性を対象としたアウトリーチ-アウトリーチ・マニュアル作成を通じて-, 第26回日本エイズ学会学術集会・総会, 横浜市, 2012
4. 山本政弘, 健山正男, 田沼順子, 飯田敏晴, 高田清式, 岸田修二: HIV関連神経認知障害(HAND): 診断の実際と今後の展開, 第26回日本エイズ学会学術集会・総会, 横浜市, 2012
5. 山本政弘: HIV感染症の長期療法成功のカギ~新しい治療コンセプトへの挑戦~, 第26回日本エイズ学会学術集会・総会, 横浜市, 2012
6. 西島健, 高野操, 石坂美千代, 瀧永博之, 菊池嘉, 遠藤知之, 堀場昌英, 金田暁, 藤井毅, 内藤俊夫, 吉田正樹, 立川夏夫, 横幕能行, 藤井輝久, 高田清武, 山本政弘, 松下修三, 健山正男, 田邊嘉也, 満屋裕昭, 岡慎一: 初回治療でアタザナビル/リトナビルを固定しエプジコムとツルバダを無作為割り付けするオープン

- ラベル多施設臨床試験：ET study 96週結果，第26回日本エイズ学会学術集会・総会，横浜市，2012
7. 井内亜紀子，センテノ田村恵子，鈴木智子，須貝恵，辻典子，濱本京子，吉用緑，山本政弘：ブロック拠点病院と中核拠点病院における連携の在り方について～中核拠点病院におけるチーム医療と研修の実績～，第26回日本エイズ学会学術集会・総会，横浜市，2012
 8. 吉川博政，山本政弘，城崎真弓，長与由紀子，前田憲昭：当院における歯科医師、歯科衛生士HIV/AIDS研修プログラムについて，第26回日本エイズ学会学術集会・総会，横浜市，2012
 9. 中隈碧，古賀雪子，高濱宗一郎，喜安純一，南留美，中嶋恵理子，城崎真弓，長与由紀子，首藤美奈子，辻麻理子，阪木淳子，山本政弘：経済的・社会的問題に支援が必要なHAND合併HIV患者に退院支援を行った一事例，第26回日本エイズ学会学術集会・総会，横浜市，2012
 10. 波戸崎萌奈美，喜安純一，高濱宗一郎，南留美，山本政弘：HIV急性感染にHIV関連心筋炎を合併した一例，第26回日本エイズ学会学術集会・総会，横浜市，2012
 11. 野中彩沙，喜安純一，高濱宗一郎，南留美，山本政弘：筋肉内膿瘍との鑑別が困難であったHIV感染合併ALK陰性未分化大細胞型リンパ腫の一例，第26回日本エイズ学会学術集会・総会，横浜市，2012
 12. 高濱宗一郎，喜安純一，中嶋恵理子，南留美，長与由紀子，城崎真弓，山本政弘：骨硬化症を呈したHIV感染者の一例，第26回日本エイズ学会学術集会・総会，横浜市，2012
 13. 服部純子，椎野禎一郎，瀧永博之，林田庸総，吉田 繁，千葉仁志，小池隆夫，佐々木悟，伊藤俊広，内田和江，原 孝，佐藤武幸，上田敦久，石ヶ坪良明，近藤真規子，今井光信，長島真美，貞升健志，古賀一郎，太田康男，山元泰之，福武勝幸，加藤真吾，藤井 毅，岩本愛吉，西澤雅子，仲宗根正，岡 慎一，伊部史朗，横幕能行，上田幹夫，大家正義，田邊嘉也，渡辺香奈子，渡邊 大，白阪琢磨，小島洋子，森 治代，中桐逸博，高田 昇，木村昭郎，南 留美，山本政弘，松下修三，藤田次郎，健山正男，杉浦 互：新規HIV/AIDS診断症例における薬剤耐性頻度の動向，第26回日本エイズ学会学術集会・総会，横浜市，2012
 14. 高橋真梨子，南留美，山本政弘：九州医療センターにおけるウイルス指向性検査，第26回日本エイズ学会学術集会・総会，横浜市，2012
 15. 村田昌之，古庄憲浩，南 留美，小川栄一，光本富士子，迎 はる，大西八郎，豊田一弘，貝沼茂三郎，岡田 享子，山本 政弘，林 純：HBV/HIV重複感染例に対する抗HBV療法についての検討，第82回日本感染症学会西日本地方学術集会，1012. 11. 5-11. 7 福岡

【付表1】平成24年度コミュニティセンターhacoで開催されたイベントおよびその来場者数
(平成24年4月1日～平成25年1月6日時点)

< イベント (場所提供含む) >

日時	イベント名	来場者数	初来場者数
4月1日(日)	かまめし	48名	6名
4月15日(日)	にじだまり	17名	2名
4月21日(土)	FGSC(手話教室)	10名	0名
4月25日(水)	第1回マルハク説明会	22名	2名
4月28日(土)	BSJコンサート観賞会	21名	4名
5月6日(日)	にじだまり	10名	3名
5月12日(土)	FGSC(手話教室)	3名	0名
5月26日(土)	FGSC(手話教室)	5名	0名
6月9日(土)	hacoでフリマ	38名	1名
6月17日(日)	にじだまり	9名	3名
6月27日(水)	第2回マルハク説明会	19名	0名
7月14日(土)	和装撮影会	25名	6名
7月29日(日)	にじだまり	7名	1名
8月5日(日)	かまめし	21名	4名
8月11日(土)	和装撮影会	33名	3名
8月12日(日)	にじだまり	6名	0名
8月22日(水)	マルハク抽選会	2名	0名
9月30日(日)	にじだまり	6名	1名
10月8日(月)	にじだまり	14名	3名
10月27日(土)	SUVサイン会	33名	8名
12月9日(日)	にじだまり	20名	3名
12月15日(土)	かまめし	29名	2名
12月23日(月)	.jp	29名	1名
1月6日(日)	にじだまり	8名	3名
合計		427名	53名

< 毎月第1日曜 勉強会「気になるHIV」 >

日時	タイトル	来場者数	初来場者数
6月3日	コンドーム試着室	5名	0名
7月8日	どのくらいの人がHIVに感染している？	8名	1名
8月5日	HIVに感染したらどうなるの？	7名	0名
9月2日	HIVはどうひろがるの？	3名	0名
10月7日	オリジナルブレンドのローションを作ろう！	3名	0名
11月14日	自分にぴったりのローションを見つけよう！	7名	1名
12月2日	意外と知らないコンドーム	9名	0名
1月6日	姫初め！？乙女のたしなみ～シャワ浣の世界～	7名	0名
合計		49名	2名

< 展示会 >

期間	タイトル	来場者数	初来場者数
6月16日(土)～7月15日(日)	JINイラスト展	139名	21名
7月20日(金)～8月11日(土)	和装総選挙	152名	18名
8月12日(日)～8月25日(土)	プリケツ写真展	99名	12名
8月30日(木)～9月29日(土)	みめんたいこ展	264名	38名
10月4日(木)～10月27日(土)	SUVイラスト展 「LOST VIRSIN」	208名	28名
11月9日(金)～12月29日(土)	福岡のHIV陽性者手記展	255名	28名
1月10日(木)～1月20日(日)	コンドーム神社	62名	3名
合計		1,117名	145名

※各来場者数は期間中の合計数

< 貸し出し >

利用者	目的	回数	人数合計
団体A	イベントダンスレッスン	13回	92名
団体B	イベントダンスレッスン	18回	127名
団体C	サークルミーティング	1回	7名
団体D	イベントダンスレッスン	1回	3名

【付表2】

< 啓発資材配布実績 >

地区	商業施設数	連携割合	配布日時	参加ボランティア数
福岡市	74店舗	94%	6月30日(土)	4名
			7月1日(日)	6名
			9月22日(土)	4名
			9月23日(日)	5名
			11月17日(土)	6名
			11月18日(日)	6名
北九州市	12店舗	100%	同上	1名
鹿児島市	1店舗	-	season発行毎	郵送

【付表3】

< コミュニティセンター利用者からの相談 >

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	合計
件数	4	4	2	3	8	5	3	4	1	2	36
内訳											
A群	1	0	0	2	0	4	2	3	1	0	13
B群	9	4	0	2	7	8	2	1	2	2	37
C群	1	2	2	2	4	1	1	2	0	0	15

※A群:セクシュアルヘルス等 B群:生活やライフプラン等 C群:その他協働等

【付表 4a】 HIV 抗体検査受検者を対象とした質問紙調査の概要

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	計
参加施設数		2	2	3	
検査件数					
男性		201	182	294	677
女性		128	123	139	390
その他		0	0	3	3
計(A)		329	305	436	1070
陽性判明数					
男性		0	1	1	2
女性		0	0	0	0
その他		0	0	0	0
計(B)		0	1	1	2
陽性判明率					
男性		0.00%	0.55%	0.34%	0.30%
女性		0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
その他		0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
計(B/A)		0.00%	0.33%	0.23%	0.19%
回収数(C)		252	211	320	783
回収率(C/A)		76.6%	69.2%	73.4%	73.2%
初受検割合		62.7%	54.0%	51.9%	56.2%
24歳以下割合		18.3%	22.3%	23.4%	21.3%
MSM ^{*1} 割合		13.5%	14.2%	14.4%	14.0%
性風俗利用者 ^{*2} 割合		24.2%	22.3%	25.0%	23.8%
性風俗従事者 ^{*3} 割合		7.5%	7.6%	5.6%	6.9%

*該当期間に得られた回答すべてを母数として割合を算出した。

*1 Men who have sex with men;生涯に男性との性交経験を有する男性

*2 過去6ヶ月間にお金を払った性交経験を有する人

*3 過去6ヶ月間にお金をもらった性交経験を有する人

【付表 4b】 HIV 抗体検査受検者の受検経験別性別および性的指向別の基本集計(1)
 -2012年4月～9月に保健所検査を受検したものを対象とした分析結果

	初受検者					合計	Pearson χ^2 p値	再受検者					MSMにおける 受検経験別 Pearson χ^2 p値						
	性別および性的指向			合計	性別および性的指向			合計	Pearson χ^2 p値										
	MSM以外の男性	女性	MSM		MSM以外の男性					女性	MSM								
	n=112	n=122	n=22	n=256	n=62	n=66	n=38	n=166											
居住地																			
福岡県	109	97.3%	120	98.4%	19	86.4%	248	96.9%	0.01	59	95.2%	65	98.5%	36	94.7%	160	96.4%	0.50	0.26
福岡県以外	3	2.7%	2	1.6%	3	13.6%	8	3.1%		3	4.8%	1	1.5%	2	5.3%	6	3.6%		
年齢																			
19歳以下	2	1.8%	4	3.3%	1	4.5%	7	2.7%	0.21	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	<0.01	0.18
20-29歳	44	39.3%	64	52.5%	9	40.9%	117	45.7%		8	12.9%	37	56.1%	13	34.2%	58	34.9%		
30-39歳	43	38.4%	39	32.0%	7	31.8%	89	34.8%		37	59.7%	21	31.8%	15	39.5%	73	44.0%		
40-49歳	11	9.8%	12	9.8%	2	9.1%	25	9.8%		13	21.0%	7	10.6%	9	23.7%	29	17.5%		
50-59歳	9	8.0%	3	2.5%	3	13.6%	15	5.9%		2	3.2%	1	1.5%	1	2.6%	4	2.4%		
60歳以上	3	2.7%	0	0.0%	0	0.0%	3	1.2%		2	3.2%	0	0.0%	0	0.0%	2	1.2%		
居住形態																			
同居	62	55.4%	80	65.6%	11	50.0%	153	59.8%	0.17	39	62.9%	37	56.1%	16	42.1%	92	55.4%	0.13	0.55
独居	50	44.6%	42	34.4%	11	50.0%	103	40.2%		23	37.1%	29	43.9%	22	57.9%	74	44.6%		
婚姻状況																			
未婚	65	58.0%	98	80.3%	20	90.9%	183	71.5%	<0.01	34	54.8%	57	86.4%	32	84.2%	123	74.1%	<0.01	0.46
既婚	47	42.0%	24	19.7%	2	9.1%	73	28.5%		28	45.2%	9	13.6%	6	15.8%	43	25.9%		
健康保険加入状況																			
国民健康保険/職場の健康保険	107	95.5%	92	75.4%	17	77.3%	216	84.4%	<0.01	60	96.8%	54	81.8%	33	86.8%	147	88.6%	0.01	0.49
被扶養者の健康保険	5	4.5%	24	19.7%	1	4.5%	30	11.7%		1	1.6%	11	16.7%	2	5.3%	14	8.4%		
未加入/無回答	0	0.0%	6	4.9%	4	18.2%	10	3.9%		1	1.6%	1	1.5%	3	7.9%	5	3.0%		
生涯の性交経験																			
ない	1	0.9%	1	0.8%	0	0.0%	2	0.8%	0.91	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	-	-
ある	111	99.1%	121	99.2%	22	100.0%	254	99.2%		62	100.0%	66	100.0%	38	100.0%	166	100.0%		
過去6ヶ月間の露性交または肛門性交経験																			
ない	41	36.6%	41	33.6%	4	18.2%	86	33.6%	0.25	17	27.4%	26	39.4%	6	15.8%	49	29.5%	0.04	0.81
ある	71	63.4%	81	66.4%	18	81.8%	170	66.4%		45	72.6%	40	60.6%	32	84.2%	117	70.5%		
過去6ヶ月間に相手にお金を払ってセックスをしたことがありますか？																			
ない(無回答含む)	61	54.5%	122	100.0%	19	86.4%	202	78.9%	<0.01	28	45.2%	65	98.5%	30	78.9%	123	74.1%	<0.01	0.47
ある	51	45.5%	0	0.0%	3	13.6%	54	21.1%		34	54.8%	1	1.5%	8	21.1%	43	25.9%		
過去6ヶ月間に相手からお金をもらってセックスをしたことがありますか？																			
ない(無回答含む)	110	98.2%	107	87.7%	22	100.0%	239	93.4%	<0.01	61	98.4%	55	83.3%	35	92.1%	151	91.0%	0.01	0.18
ある	2	1.8%	15	12.3%	0	0.0%	17	6.6%		1	1.6%	11	16.7%	3	7.9%	15	9.0%		
男性との過去6ヶ月間のコンドーム使用状況																			
過去6ヶ月間に行わない	112	100.0%	47	38.5%	6	27.3%	165	64.5%	<0.01	62	100.0%	29	43.9%	6	15.8%	97	58.4%	<0.01	0.36
常用	0	0.0%	16	13.1%	5	22.7%	21	8.2%		0	0.0%	5	7.6%	6	15.8%	11	6.6%		
非常用	0	0.0%	59	48.4%	11	50.0%	70	27.3%		0	0.0%	32	48.5%	26	68.4%	58	34.9%		
女性との過去6ヶ月間のコンドーム使用状況																			
過去6ヶ月間に行わない	41	36.6%	121	99.2%	18	81.8%	180	70.3%	<0.01	17	27.4%	66	100.0%	26	68.4%	109	65.7%	<0.01	0.13
常用	14	12.5%	0	0.0%	2	9.1%	16	6.3%		14	22.6%	0	0.0%	1	2.6%	15	9.0%		
非常用	57	50.9%	1	0.8%	2	9.1%	60	23.4%		31	50.0%	0	0.0%	11	28.9%	42	25.3%		

*HIV抗体検査受検者のうち、属性に関して無回答であった者を除き、アンケートに初めて回答した者を分析対象とした。

【付表 4c】 HIV 抗体検査受検者の受検経験別性別および性的指向別の基本集計 (2)
 -2012 年 4 月～9 月に保健所検査受検したものを対象とした分析結果

	初受検者					Pearson χ^2 p値	再受検者					MSMにおける 受検経験別 Pearson χ^2 p値							
	性別および性的指向			合計	性別および性的指向			合計	Pearson χ^2 p値										
	MSM以外の男性 n=112	女性 n=122	MSM n=22		MSM以外の男性 n=62		女性 n=66			MSM n=38									
周囲のHIV感染者の有無																			
わからない(無回答含む)	20	17.9%	34	27.9%	5	22.7%	59	23.0%	0.10	15	24.2%	21	31.8%	5	13.2%	41	24.7%	<0.01	0.34
いない/いないと思う	69	61.6%	68	55.7%	9	40.9%	146	57.0%		41	66.1%	32	48.5%	12	31.6%	85	51.2%		
いる/いると思う	23	20.5%	20	16.4%	8	36.4%	51	19.9%		6	9.7%	13	19.7%	21	55.3%	40	24.1%		
「自分がHIVに感染していても今のまま働くことができる」と思いますか？																			
あまりそう思わない/そう思わない	54	48.2%	59	48.4%	7	31.8%	120	46.9%	0.33	32	51.6%	34	51.5%	15	39.5%	81	48.8%	0.42	0.54
そう思う/ややそう思う	58	51.8%	63	51.6%	15	68.2%	136	53.1%		30	48.4%	32	48.5%	23	60.5%	85	51.2%		
「自分はHIVに感染しても恋愛や結婚はできる」と思いますか？																			
あまりそう思わない/そう思わない	86	76.8%	105	86.1%	15	68.2%	206	80.5%	0.06	58	93.5%	62	93.9%	30	78.9%	150	90.4%	0.03	0.35
そう思う/ややそう思う	26	23.2%	17	13.9%	7	31.8%	50	19.5%		4	6.5%	4	6.1%	8	21.1%	16	9.6%		
過去6ヶ月間に「HIVに感染しているかも…」と不安を感じたことはありましたか？																			
あまりなかった/全くなかった	79	70.5%	85	69.7%	10	45.5%	174	68.0%	0.06	26	41.9%	31	47.0%	15	39.5%	72	43.4%	0.73	0.65
よくあった/時々あった	33	29.5%	37	30.3%	12	54.5%	82	32.0%		36	58.1%	35	53.0%	23	60.5%	94	56.6%		
HIVに関する相談相手や場所の認知																			
全く知らない(無回答含む)	36	32.1%	32	26.2%	6	27.3%	74	28.9%	0.60	19	30.6%	23	34.8%	6	15.8%	48	28.9%	0.11	0.28
知っている	76	67.9%	90	73.8%	16	72.7%	182	71.1%		43	69.4%	43	65.2%	32	84.2%	118	71.1%		
受検動機(勧奨の有無)																			
人から勧められた、または誘われた	19	17.0%	29	23.8%	6	27.3%	54	21.1%	0.34	3	4.8%	4	6.1%	2	5.3%	9	5.4%	0.95	0.02
自分で受けようと思った	93	83.0%	93	76.2%	16	72.7%	202	78.9%		59	95.2%	62	93.9%	36	94.7%	157	94.6%		
同伴者の有無																			
1人で来た	98	87.5%	95	77.9%	18	81.8%	211	82.4%	0.02	58	93.5%	57	86.4%	35	92.1%	150	90.4%	0.24	0.26
友達・その他・無回答	1	0.9%	13	10.7%	3	13.6%	17	6.6%		0	0.0%	5	7.6%	1	2.6%	6	3.6%		
家族・恋人	13	11.6%	14	11.5%	1	4.5%	28	10.9%		4	6.5%	4	6.1%	2	5.3%	10	6.0%		
広報資材認知																			
いずれも認知なし	35	31.3%	31	25.4%	10	45.5%	76	29.7%	0.15	14	22.6%	19	28.8%	2	5.3%	35	21.1%	0.02	<0.01
いずれか認知あり	77	68.8%	91	74.6%	12	54.5%	180	70.3%		48	77.4%	47	71.2%	36	94.7%	131	78.9%		
広報資材認知(複数回答)																			
各行政の紙資材・ポスター・広報誌等	15	13.4%	35	28.7%	1	4.5%	51	19.9%	<0.01	12	19.4%	16	24.2%	11	28.9%	39	23.5%	0.54	0.02
各行政のホームページ	42	37.5%	49	40.2%	5	22.7%	96	37.5%	0.30	24	38.7%	31	47.0%	15	39.5%	70	42.2%	0.59	0.19
NGO資材	9	8.0%	9	7.4%	2	9.1%	20	7.8%	0.96	7	11.3%	3	4.5%	21	55.3%	31	18.7%	<0.01	<0.01
HIVマップ	8	7.1%	5	4.1%	5	22.7%	18	7.0%	0.01	4	6.5%	3	4.5%	8	21.1%	15	9.0%	0.01	0.88
HIV検査・相談マップ	23	20.5%	24	19.7%	7	31.8%	54	21.1%	0.43	19	30.6%	13	19.7%	15	39.5%	47	28.3%	0.09	0.35
AO広告(エイズ予防財団)	10	8.9%	12	9.8%	2	9.1%	24	9.4%	0.97	5	8.1%	3	4.5%	6	15.8%	14	8.4%	0.14	0.46

*HIV抗体検査受検者のうち、属性に関して無回答であった者を除き、アンケートに初めて回答した者を分析対象とした。

【付表 5a】 GCQ アンケート:インターネット横断調査 年齢別集計 (1)

	年齢										合計	Pearson χ^2	
	24歳以下		25-29歳		30-34歳		35-39歳		40歳以上				合計
	n=122		n=119		n=76		n=50		n=36		n=403		
性的指向													
ゲイ(同性愛者)	108	88.5%	101	84.9%	64	84.2%	46	92.0%	32	88.9%	351	87.1%	0.10
バイ(両性愛者)	14	11.5%	12	10.1%	10	13.2%	2	4.0%	1	2.8%	39	9.7%	
その他	0	0.0%	6	5.0%	2	2.6%	2	4.0%	3	8.3%	13	3.2%	
あなたは、現在だけかと一緒に暮らしていますか？													
一人暮らし	34	27.9%	52	43.7%	38	50.0%	24	48.0%	22	61.1%	170	42.2%	<0.01
家族と同居	76	62.3%	53	44.5%	33	43.4%	17	34.0%	11	30.6%	190	47.1%	
家族以外と同居	12	9.8%	14	11.8%	5	6.6%	9	18.0%	3	8.3%	43	10.7%	
あなたは現在、結婚していますか？													
結婚している	1	0.8%	1	0.8%	0	0.0%	0	0.0%	4	11.1%	6	1.5%	<0.01
結婚していない	121	99.2%	118	99.2%	76	100.0%	50	100.0%	32	88.9%	397	98.5%	
あなたは現在、健康保険を持っていますか？													
国民健康保険	45	36.9%	40	33.6%	26	34.2%	15	30.0%	11	30.6%	137	34.0%	<0.01
職場の健康保険	35	28.7%	69	58.0%	46	60.5%	33	66.0%	25	69.4%	208	51.6%	
被扶養者の健康保険	27	22.1%	7	5.9%	1	1.3%	0	0.0%	0	0.0%	35	8.7%	
持っていない	15	12.3%	3	2.5%	3	3.9%	2	4.0%	0	0.0%	23	5.7%	
次の中で過去6カ月間に利用したものはありますか？ (あてはまるものすべて)													
ゲイバー	77	63.1%	99	83.2%	54	71.1%	43	86.0%	25	69.4%	298	73.9%	<0.01
ゲイナイト	42	34.4%	67	56.3%	33	43.4%	23	46.0%	12	33.3%	177	43.9%	0.01
ゲイショップ	26	21.3%	23	19.3%	20	26.3%	17	34.0%	9	25.0%	95	23.6%	0.30
PC出会い系サイト	19	15.6%	19	16.0%	22	28.9%	8	16.0%	9	25.0%	77	19.1%	0.11
携帯出会い系サイト	49	40.2%	51	42.9%	36	47.4%	24	48.0%	15	41.7%	175	43.4%	0.83
mixiなどのSNS	77	63.1%	65	54.6%	44	57.9%	36	72.0%	13	36.1%	235	58.3%	0.01
エロ系SNS	26	21.3%	24	20.2%	26	34.2%	22	44.0%	15	41.7%	113	28.0%	<0.01
スマートフォンのゲイ向けアプリ	74	60.7%	76	63.9%	49	64.5%	31	62.0%	18	50.0%	248	61.5%	0.62
ゲイ向けサークル	10	8.2%	10	8.4%	8	10.5%	6	12.0%	4	11.1%	38	9.4%	0.91
ゲイ向け合コン	2	1.6%	4	3.4%	1	1.3%	2	4.0%	1	2.8%	10	2.5%	0.80
ゲイの乱パ	1	0.8%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.0%	2	5.6%	4	1.0%	0.04
有料のハッテン場	31	25.4%	35	29.4%	33	43.4%	19	38.0%	11	30.6%	129	32.0%	0.08
野外のハッテン場	2	1.6%	5	4.2%	3	3.9%	1	2.0%	3	8.3%	14	3.5%	0.36
ハッテン場で有名な公共施設	13	10.7%	13	10.9%	10	13.2%	8	16.0%	7	19.4%	51	12.7%	0.59
いずれも利用なし	3	2.5%	2	1.7%	2	2.6%	2	4.0%	2	5.6%	11	2.7%	0.75

【付表 5b】 GCQ アンケート:インターネット横断調査 年齢別集計 (2)

	年齢					合計 n=403	Pearson χ^2
	24歳以下 n=122	25-29歳 n=119	30-34歳 n=76	35-39歳 n=50	40歳以上 n=36		
これまでHIV抗体検査を受けようと思ったことはありますか？							
ある	99 81.1%	96 80.7%	61 80.3%	45 90.0%	31 86.1%	332 82.4%	0.57
ない	23 18.9%	23 19.3%	15 19.7%	5 10.0%	5 13.9%	71 17.6%	
これまでHIV抗体検査を受けたことはありますか？							
ある	44 36.1%	64 53.8%	43 56.6%	39 78.0%	26 72.2%	216 53.6%	<0.01
ない	78 63.9%	55 46.2%	33 43.4%	11 22.0%	10 27.8%	187 46.4%	
これまでHIV抗体検査を受けた場所はどこですか？ (あてはまるものすべて)							
保健所の通常検査	25 20.5%	29 24.4%	24 31.6%	23 46.0%	14 38.9%	115 28.5%	0.01
保健所の即日検査	22 18.0%	33 27.7%	18 23.7%	17 34.0%	8 22.2%	98 24.3%	0.20
保健所の夜間検査	0 0.0%	1 0.8%	3 3.9%	1 2.0%	1 2.8%	6 1.5%	0.21
医療センターなどの病院	4 3.3%	8 6.7%	5 6.6%	3 6.0%	5 13.9%	25 6.2%	0.24
クリニック・医院・診療所	3 2.5%	3 2.5%	5 6.6%	7 14.0%	4 11.1%	22 5.5%	0.01
郵送検査キット	0 0.0%	2 1.7%	2 2.6%	0 0.0%	0 0.0%	4 1.0%	0.32
その他	1 0.8%	3 2.5%	0 0.0%	4 8.0%	2 5.6%	10 2.5%	0.03
過去1年間にHIV抗体検査を受けたことはありますか？							
ある	30 24.6%	35 29.4%	17 22.4%	20 40.0%	13 36.1%	115 28.5%	<0.01
ない	10 8.2%	26 21.8%	21 27.6%	18 36.0%	10 27.8%	85 21.1%	
1年以上前に陽性を確認	3 2.5%	1 0.8%	5 6.6%	1 2.0%	3 8.3%	13 3.2%	
答えたくない	1 0.8%	2 1.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 0.7%	
生涯なし	78 63.9%	55 46.2%	33 43.4%	11 22.0%	10 27.8%	187 46.4%	
過去1年間にHIV抗体検査を受けた場所はどこですか？ (あてはまるものすべて)							
保健所の通常検査	17 13.9%	13 10.9%	8 10.5%	9 18.0%	2 5.6%	49 12.2%	0.44
保健所の即日検査	14 11.5%	18 15.1%	7 9.2%	4 8.0%	6 16.7%	49 12.2%	0.53
保健所の夜間検査	0 0.0%	1 0.8%	2 2.6%	1 2.0%	1 2.8%	5 1.2%	0.43
医療センターなどの病院	2 1.6%	5 4.2%	1 1.3%	3 6.0%	2 5.6%	13 3.2%	0.39
クリニック・医院・診療所	2 1.6%	1 0.8%	3 3.9%	5 10.0%	3 8.3%	14 3.5%	0.01
郵送検査キット	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.0%	1 2.8%	2 0.5%	0.11
あなたの友達や知り合いにHIVに感染している人はいますか？							
いる	11 9.0%	22 18.5%	21 27.6%	17 34.0%	12 33.3%	83 20.6%	<0.01
いると思う	19 15.6%	28 23.5%	20 26.3%	14 28.0%	13 36.1%	94 23.3%	
いないと思う	26 21.3%	23 19.3%	14 18.4%	6 12.0%	5 13.9%	74 18.4%	
いない	9 7.4%	5 4.2%	3 3.9%	1 2.0%	1 2.8%	19 4.7%	
わからない	57 46.7%	41 34.5%	18 23.7%	12 24.0%	5 13.9%	133 33.0%	

【付表 5c】 GCQ アンケート:インターネット横断調査 年齢別集計 (3)

	年齢					合計 n=403	Pearson χ^2
	24歳以下 n=122	25-29歳 n=119	30-34歳 n=76	35-39歳 n=50	40歳以上 n=36		
過去6か月間に彼氏や恋人とHIVやエイズについて話したことがありますか？							
ある	33 27.0%	43 36.1%	23 30.3%	20 40.0%	16 44.4%	135 33.5%	0.43
ない	44 36.1%	40 33.6%	29 38.2%	15 30.0%	7 19.4%	135 33.5%	
彼氏・恋人がいなかった	45 36.9%	36 30.3%	24 31.6%	15 30.0%	13 36.1%	133 33.0%	
過去6か月間に友達や知り合いとHIVやエイズについて話したことがありますか？							
ある	63 51.6%	63 52.9%	33 43.4%	29 58.0%	30 83.3%	218 54.1%	<0.01
ない	59 48.4%	56 47.1%	43 56.6%	21 42.0%	6 16.7%	185 45.9%	
次の中で、これまでにかかったことがある性感染症はありますか？ (あてはまるものすべて)							
梅毒	4 3.3%	4 3.4%	9 11.8%	5 10.0%	3 8.3%	25 6.2%	0.06
A型肝炎	1 0.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.2%	0.68
B型肝炎	2 1.6%	7 5.9%	5 6.6%	2 4.0%	4 11.1%	20 5.0%	0.17
C型肝炎	0 0.0%	1 0.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.2%	0.66
クラミジア	3 2.5%	8 6.7%	8 10.5%	4 8.0%	5 13.9%	28 6.9%	0.09
尖圭コンジローマ	1 0.8%	3 2.5%	3 3.9%	1 2.0%	0 0.0%	8 2.0%	0.52
淋病	0 0.0%	2 1.7%	4 5.3%	2 4.0%	3 8.3%	11 2.7%	0.04
HIV感染症	3 2.5%	1 0.8%	5 6.6%	1 2.0%	3 8.3%	13 3.2%	0.08
赤痢アメーバ	0 0.0%	0 0.0%	1 1.3%	1 2.0%	2 5.6%	4 1.0%	0.03
毛じらみ	22 18.0%	22 18.5%	31 40.8%	21 42.0%	16 44.4%	112 27.8%	<0.01
性器ヘルペス	2 1.6%	1 0.8%	2 2.6%	1 2.0%	0 0.0%	6 1.5%	0.80
その他	2 1.6%	1 0.8%	0 0.0%	1 2.0%	0 0.0%	4 1.0%	0.70
いずれもなし	89 73.0%	86 72.3%	33 43.4%	25 50.0%	16 44.4%	249 61.8%	<0.01
これまでに男性とセックスをしたことがありますか？							
ある	114 93.4%	114 95.8%	75 98.7%	49 98.0%	35 97.2%	387 96.0%	0.38
ない	8 6.6%	5 4.2%	1 1.3%	1 2.0%	1 2.8%	16 4.0%	
過去6か月間に、コンドームを買ったことがありますか？							
ある	44 36.1%	51 42.9%	30 39.5%	20 40.0%	16 44.4%	161 40.0%	0.83
ない	78 63.9%	68 57.1%	46 60.5%	30 60.0%	20 55.6%	242 60.0%	
過去6か月間に、コンドームをすぐに使えるよういつも身近に持っていましたか？							
いつも持っていた	34 27.9%	49 41.2%	33 43.4%	16 32.0%	22 61.1%	154 38.2%	0.01
時々持っていた	29 23.8%	33 27.7%	20 26.3%	17 34.0%	6 16.7%	105 26.1%	
持っていなかった	59 48.4%	37 31.1%	23 30.3%	17 34.0%	8 22.2%	144 35.7%	
過去6ヶ月間に、口内射精をしたことがありますか？または、口内射精をされたことはありますか？							
口内射精したことがある	27 22.1%	31 26.1%	21 27.6%	15 30.0%	5 13.9%	99 24.6%	0.25
口内射精されたことがある	23 18.9%	22 18.5%	11 14.5%	5 10.0%	2 5.6%	63 15.6%	
どちらもある	30 24.6%	25 21.0%	15 19.7%	9 18.0%	7 19.4%	86 21.3%	
どちらもない	42 34.4%	41 34.5%	29 38.2%	21 42.0%	22 61.1%	155 38.5%	
過去6ヶ月間の薬物併用経験							
いずれもなし	107 87.7%	104 87.4%	60 78.9%	43 86.0%	24 66.7%	338 83.9%	0.01
バイアグラのみ	3 2.5%	3 2.5%	3 3.9%	2 4.0%	6 16.7%	17 4.2%	
併用経験あり	12 9.8%	12 10.1%	13 17.1%	5 10.0%	6 16.7%	48 11.9%	
これまでに男性とアナルセックスをしたことがありますか？							
ある	102 83.6%	105 88.2%	68 89.5%	49 98.0%	29 80.6%	353 87.6%	0.07
ない	20 16.4%	14 11.8%	8 10.5%	1 2.0%	7 19.4%	50 12.4%	

【付表 5d】 GQC アンケート:インターネット横断調査 年齢別集計 (4)

	年齢					合計 n=353	Pearson χ^2
	24歳以下 n=102	25-29歳 n=105	30-34歳 n=68	35-39歳 n=49	40歳以上 n=29		
一番最近にアナルセックスをしたのはいつですか？							
現在から過去6カ月間の間	89 87.3%	82 78.1%	55 80.9%	41 83.7%	24 82.8%	291 82.4%	0.33
過去6カ月間から過去1年間の間	3 2.9%	5 4.8%	3 4.4%	2 4.1%	2 6.9%	15 4.2%	
1年以上前	5 4.9%	15 14.3%	10 14.7%	6 12.2%	3 10.3%	39 11.0%	
覚えていない	5 4.9%	3 2.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	8 2.3%	
一番最近にアナルセックスをした相手はどれにあてはまりますか？							
彼氏や恋人	36 35.3%	41 39.0%	23 33.8%	15 30.6%	5 17.2%	120 34.0%	0.02
友達やセクフレ	36 35.3%	25 23.8%	24 35.3%	18 36.7%	17 58.6%	120 34.0%	
その場限りの相手	26 25.5%	39 37.1%	21 30.9%	16 32.7%	7 24.1%	109 30.9%	
その他	4 3.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 1.1%	
そのときの相手とアナルセックスをしたときに、コンドームを使いましたか？							
使用	66 64.7%	72 68.6%	47 69.1%	30 61.2%	19 65.5%	234 66.3%	0.30
不使用	31 30.4%	32 30.5%	17 25.0%	19 38.8%	10 34.5%	109 30.9%	
覚えていない	5 4.9%	1 1.0%	4 5.9%	0 0.0%	0 0.0%	10 2.8%	
そのときコンドームやローションは手の届く所にありましたか？							
両方あった	77 75.5%	85 81.0%	51 75.0%	39 79.6%	24 82.8%	276 78.2%	0.25
コンドームだけあった	2 2.0%	3 2.9%	1 1.5%	0 0.0%	1 3.4%	7 2.0%	
ローションだけあった	16 15.7%	10 9.5%	13 19.1%	7 14.3%	3 10.3%	49 13.9%	
両方なかった	0 0.0%	6 5.7%	1 1.5%	2 4.1%	0 0.0%	9 2.5%	
わからない/覚えていない	7 6.9%	1 1.0%	2 2.9%	1 2.0%	1 3.4%	12 3.4%	
そのときの相手と、初めて知り合ったのはどこですか？							
ゲイバー	21 20.6%	24 22.9%	6 8.8%	13 26.5%	4 13.8%	68 19.3%	0.12
ゲイナイト	3 2.9%	6 5.7%	2 2.9%	0 0.0%	0 0.0%	11 3.1%	
ゲイショップ	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
PC出会い系	4 3.9%	0 0.0%	3 4.4%	2 4.1%	1 3.4%	10 2.8%	
携帯出会い系	21 20.6%	23 21.9%	17 25.0%	7 14.3%	4 13.8%	72 20.4%	
mixiなどのSNS	14 13.7%	8 7.6%	4 5.9%	5 10.2%	1 3.4%	32 9.1%	
エロ系SNS	4 3.9%	0 0.0%	2 2.9%	1 2.0%	0 0.0%	7 2.0%	
スマートフォンのゲイ向けアプリ	22 21.6%	23 21.9%	17 25.0%	4 8.2%	7 24.1%	73 20.7%	
ゲイ向けサークル	1 1.0%	2 1.9%	1 1.5%	1 2.0%	0 0.0%	5 1.4%	
ゲイ向け合コン	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
ゲイの乱バ	1 1.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.3%	
有料ハッテン場	8 7.8%	17 16.2%	13 19.1%	11 22.4%	10 34.5%	59 16.7%	
野外ハッテン場	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
ハッテン場で有名な公共施設	0 0.0%	1 1.0%	1 1.5%	1 2.0%	0 0.0%	3 0.8%	
その他・覚えていない	3 2.9%	1 1.0%	2 2.9%	4 8.2%	2 6.9%	12 3.4%	
そのときセックスする前にコンドームについてどのように思っていましたか？							
使いたいと思っていた	63 61.8%	72 68.6%	46 67.6%	33 67.3%	19 65.5%	233 66.0%	0.37
使いたいと思っていなかった	3 2.9%	9 8.6%	4 5.9%	5 10.2%	3 10.3%	24 6.8%	
相手に合わせようと思っていた	32 31.4%	18 17.1%	17 25.0%	10 20.4%	7 24.1%	84 23.8%	
わからない/覚えていない	4 3.9%	6 5.7%	1 1.5%	1 2.0%	0 0.0%	12 3.4%	
過去6ヶ月間のアナルセックス経験							
過去6ヶ月間あり	89 87.3%	82 78.1%	55 80.9%	41 83.7%	24 82.8%	291 82.4%	0.53
過去6ヶ月間なし	13 12.7%	23 21.9%	13 19.1%	8 16.3%	5 17.2%	62 17.6%	
過去6ヶ月間に次のような関係の男性とアナルセックスをしましたか？ (あてはまるものすべて)							
彼氏や恋人	44 43.1%	40 38.1%	22 32.4%	13 26.5%	6 20.7%	125 35.4%	0.10
友達やセクフレ	45 44.1%	34 32.4%	24 35.3%	18 36.7%	14 48.3%	135 38.2%	
その場限りの相手	41 40.2%	37 35.2%	24 35.3%	15 30.6%	10 34.5%	127 36.0%	

【付表 5e】 GCQ アンケート:インターネット横断調査 年齢別集計 (5)

	年齢					合計 n=291	Pearson χ^2
	24歳以下 n=89	25-29歳 n=82	30-34歳 n=55	35-39歳 n=41	40歳以上 n=24		
過去6ヶ月間のアナルセックス相手との関係							
特定相手のみ	39 43.8%	41 50.0%	30 54.5%	26 63.4%	12 50.0%	148 50.9%	0.15
特定/不特定両方	33 37.1%	25 30.5%	12 21.8%	4 9.8%	6 25.0%	80 27.5%	
不特定相手(その場限り)のみ	17 19.1%	16 19.5%	13 23.6%	11 26.8%	6 25.0%	63 21.6%	
過去6ヶ月間のポジション							
挿入のみ(タチのみ)	7 7.9%	15 18.3%	13 23.6%	15 36.6%	6 25.0%	56 19.2%	0.01
被挿入のみ(ウケのみ)	28 31.5%	15 18.3%	9 16.4%	8 19.5%	3 12.5%	63 21.6%	
両方(タチ・ウケ)	54 60.7%	52 63.4%	33 60.0%	18 43.9%	15 62.5%	172 59.1%	
コンドーム使用状況							
非常用	59 66.3%	46 56.1%	30 54.5%	23 56.1%	15 62.5%	173 59.5%	0.57
常用	30 33.7%	36 43.9%	25 45.5%	18 43.9%	9 37.5%	118 40.5%	
彼氏や恋人などの相手とのコンドーム使用状況							
非常用	31 70.5%	28 70.0%	15 68.2%	8 61.5%	6 100.0%	88 70.4%	0.55
常用	13 29.5%	12 30.0%	7 31.8%	5 38.5%	0 0.0%	37 29.6%	
合計	44 100.0%	40 100.0%	22 100.0%	13 100.0%	6 100.0%	125 100.0%	
友達やセフレなど恋人ではない特定の相手とのコンドーム使用状況							
非常用	28 62.2%	18 52.9%	14 58.3%	12 66.7%	6 42.9%	78 57.8%	0.63
常用	17 37.8%	16 47.1%	10 41.7%	6 33.3%	8 57.1%	57 42.2%	
合計	45 100.0%	34 100.0%	24 100.0%	18 100.0%	14 100.0%	135 100.0%	
その場限りの相手とのコンドーム使用状況							
非常用	21 51.2%	15 40.5%	10 41.7%	4 26.7%	5 50.0%	55 43.3%	0.55
常用	20 48.8%	22 59.5%	14 58.3%	11 73.3%	5 50.0%	72 56.7%	
合計	41 100.0%	37 100.0%	24 100.0%	15 100.0%	10 100.0%	127 100.0%	
博多の住吉にあるHAKATA Community center hacoに行ったことがありますか？							
行ったことがある	17 13.9%	45 37.8%	26 34.2%	19 38.0%	15 41.7%	122 30.3%	<0.01
知っているが行ったことない	34 27.9%	42 35.3%	23 30.3%	23 46.0%	12 33.3%	134 33.3%	
知らない	71 58.2%	32 26.9%	27 35.5%	8 16.0%	9 25.0%	147 36.5%	
LAFが配布しているコミュニティペーパーseasonを読んだことがありますか？							
読んだことがある	41 33.6%	68 57.1%	44 57.9%	39 78.0%	21 58.3%	213 52.9%	<0.01
知っているが読んだことない	12 9.8%	16 13.4%	9 11.8%	2 4.0%	4 11.1%	43 10.7%	
知らない	69 56.6%	35 29.4%	23 30.3%	9 18.0%	11 30.6%	147 36.5%	
LAFが配布しているコンドームを持ち帰ったことがありますか？							
過去1年間に持ち帰った	28 23.0%	48 40.3%	30 39.5%	23 46.0%	18 50.0%	147 36.5%	<0.01
1年以上前に持ち帰った	12 9.8%	17 14.3%	9 11.8%	10 20.0%	4 11.1%	52 12.9%	
知っているが持ち帰ったことない	17 13.9%	20 16.8%	10 13.2%	10 20.0%	4 11.1%	61 15.1%	
知らない	65 53.3%	34 28.6%	27 35.5%	7 14.0%	10 27.8%	143 35.5%	
これまでに博多のキャンペーンキャラクターを見たことがありますか？							
見た	48 39.3%	62 52.1%	28 36.8%	24 48.0%	19 52.8%	181 44.9%	0.13
見ていない	74 60.7%	57 47.9%	48 63.2%	26 52.0%	17 47.2%	222 55.1%	